

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

広島県神石高原町
が応援するふるさと名物

高原の台地に息づく自然景観・
歴史風土・食の体験型ツーリズム
と土産物開発





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

平成31年3月4日

広島県神石高原町

(じんせきこうげんちょう)

地域の
プロフィール



神石高原町は、広島県の東部、岡山県との県境にある、面積381.98平方キロメートルの町です。中国山地が広島県東部で南に張り出した石灰岩からなる高原地形の中に位置し、標高は400～700mとなっています。

この高原では「神石高原の黒いダイヤ」と呼ばれる『ピオーネ』を始め、「神石牛」(広島牛)や、「まる豊とまと」の農林産品の地域ブランドを形成しています。

石灰岩からなる高原地形ならではの自然景観を有する帝釈峡を中心に、観光開発が高度経済成長期にかけて進められ、広島県有数の『紅葉名所』として定着しています。この他にも、豊かなリゾート・レクリエーション施設が点在しています。

今回、この高原に息づく歴史・文化・生活にスポットをあて、個人の旅行客へ『神楽』鑑賞の提供を行うなどの様々なニューツーリズム開発を支援します。

ふるさと名物の内容

1

高原の台地に息づく
自然景観・歴史風土・食の体験型ツーリズムと土産物開発

ふるさと名物

2

主な地域資源



◆神楽

軽妙軽快な踊りで語りに重点を
置いた独自の神楽文化を形成



◆帝釈峡

石灰岩が浸食されたカルスト台地の両側に広がる溪谷美と四季折々の自然景観を形成

◆仙養ヶ原

高原の地形を生かした体験型テーマパークやゴルフ場を整備

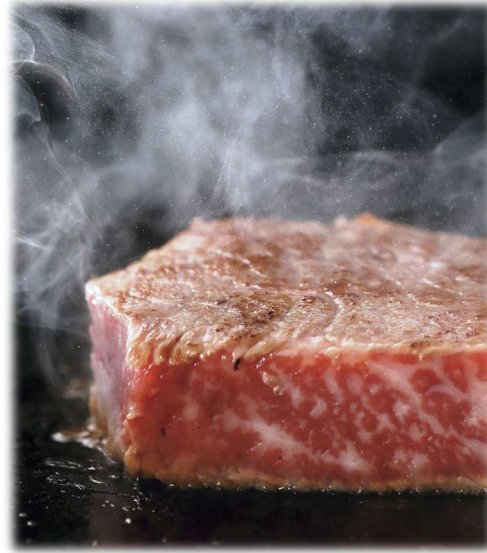


2

主な地域資源

◆神石牛（広島牛）

冷涼な気候風土ときれいな水に恵まれた環境で、繁殖から肥育まで町内で一貫生産体制を構築



◆まる豊とまと

夏でも冷涼な高地で栽培される「まる豊とまと」は、味のバランスがよく、市場ではブランドトマトとして販売される。ケチャップなどの加工品も人気



◆ぶどう

高原の寒暖の差を生かし、その中で育つ色づきのよいピオーネは「神石高原の黒いダイヤモンド」として定着



◆こんにやく

在来種の生芋こんにやくから作られるこんにやくは、強い粘り・弾力が特徴



市町村の取り組み

1

独自の支援策

◆資金供与による新事業の支援「一般財団法人神石高原地域創造チャレンジ基金の設立」

町内で事業展開をする方に、資金的支援と伴走型支援(経営指導)を実施し、経営の安定化・自律的な運営を促すことで、新規事業者参入を促進

◆資金供与による新事業の支援『神石高原町チャレンジアワード「ビジネスプランコンテスト」を開催』

最優秀賞100万円、優秀賞50万円を交付し、地域資源を活用した起業や新たな事業展開を応援

◆神石牛(広島牛)のブランド化支援「神石牛振興協議会」

協議会を立ち上げ、取扱店の開拓や東京アンテナショップ(広島県府中市 NEKI)での販売、情報誌への掲載による知名度アップに向けた取り組みなど神石牛の普及・ブランド化を支援

◆神楽の定着化支援「神石高原の神楽推進協議会」

町における郷土伝統芸能である神楽の後継者を育成し、かつ『神石高原の神楽』として広く周知し、保存・継承して行くことを目的に組織化。神楽イベントの開催経費等の補助により神楽の定着化を支援

◆独自ブランドによる情報発信「JIN(神)プレミアム」

「神石高原町でかがやく、もの・ひと・こと」などで特に優れたものを神石高原プレミアムブランド「JIN(神)プレミアム」として認定し、マスコミへの積極的な情報提供や販売促進を支援



2

広報